

京都知的障害者福祉施設協議会

京都府京都市南区東九条下殿田町24(福)京都ライフサポート協会「若杉」内

<https://kyotifuku.jp>

発行人／樋口幸雄



とっても素敵な商品が
出来上がりました♪



「プチプチ手作り市」に参加

大照学園

大照学園では、学園の近くにある商店街で行われた「プチプチ手作り市」に参加して、利用者の皆さんの作られた鍋敷きやマットなどの商品を販売しました。これは、コロナ禍で活気の失われてしまっている商店街を盛り上げるために行われたイベントです。

鍋敷きは、靴下を製造する際にでる端材(端切れわっか)を材料にして編み杵を用いて一つずつ丁寧に作られています。使う端切れわっかの色や素材も作っている方のセンスで選ばれるので、世界にひとつだけの製品が完成します。

販売に参加してくださった利用者からは、「よく売れてよかった」「また参加したい」という声が聞かれました。いまは、次回の販売の機会に向けてたくさんの製品づくりを頑張っておられます。



特集

コロナ禍での余暇活動

みんな何してた？

コロナ禍…対面での活動が制限される中での支援は今まで通りにいかない事も多くあります。

それでも利用者の皆様に楽しんでいただけるよう、職員も頑張ってます！

特集では、余暇取組の一部をご紹介します♪



- ◆〈特集〉コロナ禍での余暇活動 みんな何してた？ … 1～3
- ◆全国職員研究大会 京都大会 in ONLINE 告知 …… 4～6
- ◆新規加入事業所・組織変更事業所紹介 …………… 6
- ◆2020年度収支決算報告 …………… 7
- ◆全国大会・オンライン開催にむけて 中西副会長 …… 8
- ◆令和3年度京都知的障害者福祉施設協議会役員体制 …… 8
- ◆令和3年度広報部会部員紹介 …………… 8

INDEX

昨年度までは、利用者8名構成で畑班を運営していました。コロナ禍でお楽しみイベントが無くなった事を憂い、特に作業では外出系の畑仕事が利用者・保護者さん共に望まれるようになりました。今年度は曜日ごとの交代も取り入れ、畑作業に出る人数を増やしました。併せて利用者さん毎に個人の苗を決め『マイはたけ』と称し、花が大輪で美しく比較の育てやすいオクラを栽培しています。

利用者さんそれぞれ自分の管理作物であってこそ愛情を注ぎ、水やり、草抜きにと頑張って作業されています。収穫したものは持ち帰り、夕食の一品に…。頑張りを讃えてもらい、更なる意欲につながっています。下半期は複数の品種から選択してもらい、より独自性の強い「マイはたけ」を展開、やりがいに繋げていきたいと思っています。

宇治川福祉の園

畑作業での『マイはたけ』



収穫がとっても
楽しみですね♪



毎月ゲストやご家族を迎えて行っていたコンサートや行事、外出活動等が中止・縮小となり、地域の方と関わる機会が減少。そんな中、少しでもはなのき通所の活動をアピールできることはないかと考え、紙漉きサークルで漉いた和紙を使用しミニうちわを作成。出来たうちわを就職フェアで展示しました。



はなのき通所



みんな何してた？

みんないろいろ工夫してます
コロナ禍、乗り切りましょう！



夏祭り



自治会で『感染症学習会』開催



宇治川福祉の園

6月より自治会を再開して2か月目、7月9日の自治会では感染症対策勉強会として『感染症対策講義』と『コロナとワクチンの寸劇』を行いました。まだまだ全員が一堂に会する設定は難しく、会場を2か所に分け、講義の講師と寸劇一座、それぞれが入れ替え発表となりました。利用者さんに楽しめる勉強会となるように、コロナウイルスのお面を被ったコロナ君と巨大注射器を持ったワクチン君が、特に個性的なキャラクター

を演じ切り、公演中に飛び上がって喜び感激(観劇?)する利用者さん…。両名はいずれも真面目で物静かな職員ながら、殻を破った意外なキャラクターを演じ切り、それぞれ大きな拍手を浴びています。特別に寸劇の形式をとり、「ワクチンは大事やで」と「注射は怖くないよ」が伝わったかと思います。



修光学園

夏真っ盛りの7月31日、修光学園ご利用者の自治会が主催となって「夏祭り」を館内で開催しました。お祭りの雰囲気を感じてもらえるように、お祭りのポスターを掲示したり、祭囃子の音楽を流すなど、工夫をしました。射的・スーパーボールすくい・ヨーヨーつりといった、昔ながらの遊びに、つつい夢中になって楽しまれた皆さんでした。



「例えば・・・皆で駐輪場の壁に色を塗ったり、絵を描くなんてどう？」

開所記念行事を控え、コロナ禍の最中であることを最大限に配慮して、その年の記念みたいなモノができないかと、担当でミーティングをしていた時の事です。

そこで、以前から親交のある美術家の井上信太さんにも協力頂き、時間を分散して、利用者さんとスタッフ全員で一気に仕上げました。大きな開口部がある横24m 縦2.3mの壁面が、この日、グランドの新緑と一体になりました。

ワークスおーい

「不思議な森のモンスター」出現!



素快です!!

コロナ禍でもイベントを



これは大作ですね!

燻製醤油と飲食店が コラボレーション! テnderハウスの テnderイーツ!

次が楽しみです♪



テnderハウス

コロナの影響で利用者さんが外食をする機会も激減したことでしょう。そこでテnderハウスでは、自社製品である燻製醤油イブリディと、飲食店とがコラボレーションをし、商品をテイクアウトしていただく企画を立案しました。その名も「テnderイーツ」! 記念すべき第1回は、木屋町に店を構える39餃子さんとのコラボ。冷凍をした蒸し餃子に燻製醤油を添えてお持ち帰りいただきました。次の日、来所されたみなさんは「おいしかった〜!」と大満足な様子でした。好評につき、第2回、第3回と開催していく予定にしております!

美味しそう♪



毎月の外出ができなくなり、2年ほど経ちました。それでも楽しいことがしたい!と感染対策を万全に、今年も夏祭りを開催しました。昨年よりもさらに夏祭りっぽさを追求し「スイカ割り」と「金魚(おもちゃ)すくい」をプログラムに組み込みました。どちらも利用者様からの希望によって決定しました。金魚すくいを経験したことのない利用者様も各々の方法ですくっておられ、そんな方法が・・・と発見もありました。

翼

キッチンカーのソフトクリーム屋

ソフトクリームを焼けて口に入れようとする方、溶けてしまい半分地面に落とされる方もおられました。ご利用児からは、「また、来てくれるかな」「たこ焼きもいいな」との声も聞け、ひと夏の楽しい思い出になったと思います。

むとべ翠光園



第58回 全国知的障害福祉関係職員研究大会

京都大会 in ONLINE

1月27日 木・28日 金

福祉従事者の果たす役割と誇り、そして未来に向けた責務を共有するための研究大会を開催します。第58回大会は初のオンライン開催となりますが、その利点を活用して、会員事業所の皆さまにとって有意義な場となりますよう、大会実行委員一同、精一杯努めたく存じます。各分科会の内容は以下を参考にしてください。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げております。なお、最新情報はWEBサイトにて随時更新いたしますので、ご確認ください。



<https://tifukukyototakai.jp/>

オープニングパフォーマンス 1/27 9:35~9:55



写真／開催要項を転載

大地を寿ぎ天に祈る

三番三とは大地の神となり地を踏み固め、未来という種をまき、天下泰平、国家安穩、五穀豊穡などを祈る演目です。皆様が人につくすお仕事はまさに国家安穩を願うに他ならないと思います。皆様の願いの代表として舞台を勤めさせて頂く所存でございます。囃(はやし)方の奏でる心強い音楽、舞の豪快さ、着物のめでたさなど大いに感じ取っていただけるとさいわいです。京都が育んできた伝統芸能の三番三を是非お楽しみください。

茂山 忠三郎氏 能楽師大蔵流狂言方

記念講演・うた 1/28 15:00~16:00



写真／開催要項を転載

哲さんの声が聞こえる

どんな時もいちばん苦しんでいる人に向き合い、「生きておりなさい」と言い続けた中村哲医師の生き方は、私たちにこの難しい時代を生き抜く、根源的な方法を教えてくれていると思います。哲さんの言葉の中で私がいちばん大切にしているのは、「その地域の慣習や文化について一切、これを良い悪い、劣っている優れている、という目で見ない。」という言葉です。この言葉は、私達が日本で暮らしている時も、目の前の人に対して、決して偏見を持たずに真っ直ぐに向き合う大切さを伝えています。このトークライブでは、私自身の人生も重ね合わせながら、哲さんの言葉をご紹介します。

加藤 登紀子氏 歌手

分科会 1/27 AM PM 1/28 AM PM AM 10:50~12:50 / PM 13:35~16:05

芸術

ひとがはじめからもっている力

日比野 克彦氏 (アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科 教授)
聞き手／奥山 理子氏 (みずのき美術館 キュレーター)

技術

テクノロジーの活用を支援のスタンダードに ～よりよい明日を約束するために～

中邑 賢龍氏 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)
加藤 永歳氏 (厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官)
小林 大祐氏 (一般財団法人たんぽぽの家IoTとFabと福祉事務局)

人材

福祉の仕事には感動がある！人材確保のための魅力発信

野澤 和弘氏 (植草学園大学 副学長) 内多 勝康氏 (国立成育医療研究センターもみじの家 ハウスマネージャー)
御代田 太一氏 (救護施設ひのたに園 元生活支援員／「障害者のリアルに迫る」東大ゼミOB)

建築

「利用者視点の施設環境づくり」～質の高い施設環境をつくるためのヒント～

山脇 博紀氏（筑波技術大学産業技術学部産業情報学科 教授）
 二井 るり子氏（株式会社二井清治建築研究所 副所長） 岩崎 直子氏（株式会社ゆう建築設計 常務取締役）
 松村 正希氏（株式会社莫設計同人 代表取締役） 山崎 博央氏（株式会社地域計画建築研究所（アルパック） 執行役員）

高齢

高齢社会における障がい者支援とコミュニティ ～年を重ねても自分らしく生きよう～

白江 浩氏（社会福祉法人ありのまま舎 常務理事）
 森下 浩明氏（社会福祉法人みなと舎 常務理事・ゆう施設長） 榎本 博文氏（社会福祉法人ひまわり福祉会 ひまわりの風 施設長）

子ども

これからの社会的養護と子どもと家庭への支援

上鹿渡 和宏氏（早稲田大学人間科学学術院 教授・社会的養育研究所 所長）
 坂根 真理氏（毎日新聞記者） 田中 栄至氏（社会福祉法人六方学園 業務執行理事） 北川 聡子氏（社会福祉法人麦の子会 理事長）

働く

『農福連携』～つながる就労支援、広がる日中活動～

榊原 典俊氏（社会福祉法人青葉仁会 理事長） 須江 淳起氏（長野県セルフセンター協議会 農福チャレンジコーディネーター）
 中原 力哉氏（社会福祉法人一麦会ソーシャルファームもぎたて 代表） 杉田 健一氏（特定非営利活動法人縁活 常務理事）

災害

災害に備える、災害時に動く ～二つの大災害からの教訓～

西牧 謙吾氏（国立リハビリテーションセンター病院長・発達障害情報センター長） 蓬萊 和裕氏（社会福祉法人ゆたか会 理事長）
 高部 真実氏（社会福祉法人椿福祉会 理事長） 千葉 正道氏（岩手県災害派遣福祉チーム メンバー）

暮らし

地域生活と意思決定支援 ～本人の意思を踏まえた、多様な生活の在り方への支援～

松端 克文氏（武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科 教授）
 奥山 智子氏（あいすくりーむの家 管理者） 北地 生氏（グループホームはまかぜ サービス管理責任者）
 濱村 怜氏（横手通り43番地「庵」 統括主任）

触法

触法問題から見える課題と福祉施策

宮口 幸治氏（立命館大学大学院人間科学研究科 教授） 青木 建氏（国立武蔵野学院 元院長）
 益子 千枝氏（兵庫県地域生活定着支援センターウィズ 主任相談員）

専門性

対人援助職のセルフメンタルヘルスケア

松上 純一郎氏（株式会社ルパート 代表取締役）
 志賀 文香氏（me:Rise キャリアコーチ） 小泉 暁子氏（me:Rise キャリアコーチ）

虐待防止

障がい者虐待防止・権利擁護と意思決定支援

堀江 まゆみ氏（白梅学園大学子ども学部 教授） 曽根 直樹氏（日本社会事業大学福祉マネジメント研究科 准教授）
 則枝 勝也氏（京都府立こども発達支援センター 技術次長・地域連携課長）

文化芸術活動

ワークショップ

- ① ライブペイント NPO法人スウィング／アトリエやっほう!!
- ② ものづくりが変わる ～アップサイクル・ラボ～ 企画：NPO 法人みのりのもり劇場、協力：一般社団法人 HAPS
伊豆田 千加氏（NPO 法人みのりのもり劇場 理事長）
- ③ プロのテク。どんどんマネして!「あかるい物撮り講座」企画：NPO 法人みのりのもり劇場、協力：一般社団法人 HAPS
池田 晶紀氏（株式会社ゆかい 代表・写真家・クリエイティブディレクター）

同時開催「WEB物産展」出展募集中

全国知的障害福祉関係職員研究大会と同時にWEB物産展を開催します。コロナ禍で自主製品をアピールする場が激減している昨今、魅力的な製品を集めたWEB物産展を企画しました。京都の製品を他の地域の方へのアピールし認知度や売上の向上に繋がりたいと考えています。会員施設皆さまからの参加をお待ちしています

第58回 全国知的障害者福祉関係職員研究大会 京都大会 in ONLINE 各分科会担当役員

このメンバーが中心となって大会をサポートします。ぜひ当日をお楽しみに！



芸術／文化芸術活動
矢野顧問



技術
森井委員



人材
中西副会長



建築
塩見副会長



高齢
山代委員



子ども
岩本委員



働く
藤田委員



災害
土居委員



暮らし／文化芸術活動
森委員



触法
須河委員



専門性
菊池委員



虐待防止
廣幡委員



KCニュースは208号より紙面デザインを変更しました。「手に取って読みやすい広報誌」となるよう身近な情報や特集記事を多く掲載し会員事業所以外にも情報発信をするツールにできればと考えています。話題に富んだ広報誌のためには記事が欠かせません。会員事業所の皆様からの投稿をお待ちしています。

新規加入事業所紹介



社会福祉法人 西陣会 デイセンター ふらっと

管理者 ● 本林直人 事業種別 ● 生活介護 所在地 ● 京都市上京区元誓願寺通千本東入元四丁目430-3

デイセンターふらっとは、ユニットを3つに分けて活動を行っています。それぞれで活動していますが、市民しんぶんの配布や、近所のクリーンウォーク（ごみ拾い）、公園清掃など地域の中での役割を担えるような活動もしています。元々、法人が取り組んできた地域福祉の活動の中で障がいのある方達にお会いしているので、地域との関りを大切に活動を行いたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。



社会福祉法人 みずなぎ学園 地域生活支援センター みずなぎ

管理者 ● 今安 えり子 事業種別 ● 相談支援事業 所在地 ● 舞鶴市鹿原772-1

地域生活支援センターみずなぎは、京都府と舞鶴市からの委託を受け障害児・者の相談窓口として、障害のある人やその家族のライフステージに応じた生活を総合的に支援する事を目的に業務しております。また、ホームヘルプみずなぎとして居宅介護、移動支援事業等の事業も行っています。「地域で生活する」という事は、現実とはとても厳しい状況にあります。地域との架け橋となり、人と人との『つながり』を構築し、社会資源の調整役となる協働作業に日々、邁進しているところです。



社会福祉法人 みずなぎ学園 グループホーム みずなぎ朝来

管理者 ● 高家 康生 事業種別 ● 日中サービス支援型共同生活援助・短期入所 所在地 ● 舞鶴市字朝来中815-8

昨年8月に開設しましたグループホームみずなぎ朝来です。利用定員は25名（内短期入所5名）、内部は2ユニットとなっています。周囲の環境は、すぐ裏を通る遊歩道が市内において桜並木の名所となっており、春は桜を楽しみながら歩かれる方が沢山おられ、入居者の方々にとっても良い散歩コースとなっています。入居者は全員が65歳以上の高齢の方々ばかりのため、健康不安も多く、医療機関との連携は必須で通院支援も頻繁にある状況です。



組織変更

NPO 法人 タイム・ワークサポートセンターは、2020年より社会福祉法人 径（こみち）福祉会に組織変更をされました。「えすぺらんと・α」「LA-GOM」の2事業所が協会に加入されました。

お礼とご報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のための用品が不足する中、共和ゴム株式会社様より7500枚の医療用ガウンを寄贈いただきました。いただいた医療用ガウンは会員事業所へ配布し、大切に利用させていただきます。ありがとうございました。

2020年度

(2021年3月31日現在)

収支決算書

京都知的障害者福祉施設協議会

収入合計	19,491,271
支出合計	8,269,975
差引残額	11,221,296

(残額は次年度へ繰越)

事業振興基金	1,094,609
--------	-----------

◆収入の部

(単位：円)

大区分	中 区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要 (積算内訳)
会費収入		9,210,000	9,147,500	△ 62,500	
	1. 日本知福協会会費収入	3,300,000	3,265,000	△ 35,000	
	2. 近畿知福協会会費収入	210,000	208,000	△ 2,000	
	3. 京都知福協会会費収入	5,700,000	5,674,500	△ 25,500	
補助金収入		80,000	81,760	1,760	
	1. 京都府補助金収入			0	クラシックコンサートなし
	2. 京都市補助金収入			0	
	3. 日本知福協補助金収入	80,000	81,760	1,760	地方会助成
寄付金収入		0	0	0	
	1. 寄付金収入	0	0	0	
委託金収入		2,100,000	2,100,000	0	
	1. 委託金収入	2,100,000	2,100,000	0	京都知的障害児者生活サポート協会・近畿知福10万円
協賛金・助成金収入		1,000,000	1,000,000	0	
	1. 協賛金・助成金収入	1,000,000	1,000,000	0	生活サポート協会研修協賛金・クラシックコンサートなし
雑収入		110	97	△ 13	
	1. 雑 収 入	100	85	△ 15	預金利息85円
	2. 研修参加費収入	0		0	
	3. 事業振興基金利息収入	10	12	2	預金利息
積立金取崩収入		0	0	0	
	1. 事業活動積立金取崩収入		0		
繰越金		7,161,914	7,161,914	0	
	1. 繰 越 金	7,161,914	7,161,914	0	
収入合計		19,552,024	19,491,271	△ 60,753	

◆支出の部

(単位：円)

大区分	中 区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要 (積算内訳)
分担金		3,840,000	3,803,800	△ 36,200	
	1. 日本知福協会会費支出	3,300,000	3,265,000	△ 35,000	事務局経由分
	2. 近畿地区知福協会会費支出	210,000	208,000	△ 2,000	@2,000×104
	3. 府市施設協議会分担金支出	330,000	330,800	800	府施設協・市施連協
事務局費		5,406,000	4,023,615	△ 1,382,385	
	1. 職員雇用費	2,500,000	2,500,000	0	事務局職員(事務所経費含む)
	2. 役務費	300,000	267,994	△ 32,006	郵送料、振込手数料、電話代
	3. 需用費	600,000	263,286	△ 336,714	事務用品、印刷代、ホームページ作成費等
	4. 備品費	100,000		△ 100,000	
	5. 旅費	700,000	117,400	△ 582,600	部会協議会、関係団体等会議出席、事務局等旅費
	6. 会議費	200,000		△ 200,000	役員会会場費等
	7. 慶弔費	50,000	11,000	△ 39,000	
	8. 雑費	230,000	132,700	△ 97,300	事務所移転費用・会費
	9. 賃借料	330,000	335,235	5,235	トランクルーム賃借料・コピー機17,280/月×12月
	10. 業務委託費	396,000	396,000		弁護士顧問料
	11. 特別事業費			0	
部会活動費		640,000	436,581	△ 203,419	
	1. 広報部会活動費	500,000	436,581	△ 63,419	「知福協だより」等
	2. 行事・文化部会活動費	140,000		△ 140,000	
委員会費		1,040,000	5,979	△ 1,034,021	
	1. 政策委員会費	50,000		△ 50,000	
	2. 研修委員会費	900,000		△ 900,000	
	3. 人権・倫理委員会費	50,000		△ 50,000	
	4. 支援スタッフ委員会	40,000	5,979	△ 34,021	
種別部会費		400,000	0	△ 400,000	
	1. 児童発達支援部会費	80,000		△ 80,000	
	2. 障害者支援施設部会費	50,000		△ 50,000	
	3. 日中活動支援部会費	80,000		△ 80,000	
	4. 生産活動・就労支援部会費	50,000		△ 50,000	
	5. 地域支援部会費	60,000		△ 60,000	
	6. 相談支援部会費	80,000		△ 80,000	
積立金支出		0	0	0	
	1. 事業振興基金積立金支出	0	0	0	
	2. 事業活動積立金	0	0	0	
予 備 費		8,226,024		△ 8,226,024	
支出合計		19,552,024	8,269,975	△ 11,282,049	

2020年度鹿児島視察参加者に 20,000円／人 全国大会仮払金として支給

京都知的障害者福祉施設協議会 令和3年度役員体制

- 〈会長〉 樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]
 〈副会長〉 塩見 正人 [(福)福知山学園]
 中西 昌哉 [障がい者地域共生拠点イマジン]
- 〈地域連絡会〉
 京都府連絡会代表
 樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]
 京都市連絡会代表
 中西 昌哉 [障がい者地域共生拠点イマジン]
- 〈特別委員会〉
 政策委員会
 委員長 樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]
 研修委員会
 委員長 菊池ゆかり [居宅介護わくわく]
 人権・倫理委員会
 委員長 廣幡 顕一 [京北やまぐにの郷]
- 〈事業部会〉
 行事・文化部会
 部会長 濱田 康寛 [障害者支援施設みすなぎ学園]
 副部会長 竹内 竜也 [京都市ふしみ学園]
 広報部会
 部会長 西田 武志 [障害者支援施設 翼]
 副部会長 森 亮 [光の家アクティブセンター]
 〈児童発達支援部会〉
 障害児入所支援、障害児通所支援
 部会長 渋谷 千鶴 [(福)平安養育院]
 副部会長 岩本 俊也 [桃山学園]
 〈障害者支援施設部会〉
 障害者支援施設
 部会長 山代 浩史 [(福)南山城学園]
 副部会長 土居 雅幸 [京都市洛西ふれあいの里更生園]
 〈日中活動支援部会〉
 生活介護、療養介護、自立訓練、地域活動支援センター
 部会長 森井 詳太 [乙訓ひまわり園]
 〈生産活動・就労支援部会〉
 就労継続支援B型、就労継続支援A型、就労移行支援
 部会長 藤田 公智 [ワークセンター Halle!]
 副部会長 野村 尊実 [(福)菊鉾会]
 〈地域支援部会〉
 共同生活援助、自立訓練(宿泊型)、福祉ホーム、
 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援
 部会長 森 亮 [修光学園ディアコニアセンター]
 副部会長 垣村 知哉 [あしたーる風和里]
 〈相談支援部会〉
 相談支援事業、就業・生活支援センター、
 重度障害者包括支援
 部会長 須河 浩一 [相談支援センターいづみ]
 副部会長 守本 明 [天ヶ瀬さばうの家]
 〈支援スタッフ委員会〉
 委員長 高瀬 謙一 [しょうがい者生活支援センターあんじゅ]
 〈監 事〉 平田 捷郎 [障害者支援施設あんびしゃ]
 大橋 良輝 [洛西愛育園]
 〈顧 問〉 矢野 隆弘 [(福)松花苑]
 〈事務局〉 樋口 杏 [(福)京都ライフサポート協会]

全国大会・オンライン開催にむけて

京都知的障害者福祉施設協議会 副会長 中西 昌哉



京都知的障害者福祉施設協議会に加盟する施設・事業所の職員の皆さま、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、様々な苦勞をされていることと存じます。利用者の命と暮らしを守る使命感に立ち励んでおられますことに敬意を申し上げます。

さて来る 2022年 1 月27日(木)・28日(金)、『第58回全国知的障害福祉関係職員研究大会京都大会 in Online』が開催されます。今回の全国大会は、初のオンライン開催で準備がすすめられています。まもなく開催要綱がみなさまのお手元にも届くでしょう。当初は全国から京都の地にお越しただいて本大会を開催する予定でしたが、昨年は延期になり改めてオンラインで開催されることとなりました。直接集まることができず残念ではありますが、初めての試みを盛り上げていただきたくお願いを申し上げます。是非、会員施設・事業所のみなさまには、もれなくご参加いただきたいのです。前例がないゆえに、どれだけの申込があり全国からつながって下さるのか予想もつきませんが、まずは京都から盛り上がりの wave を広げていこうではありませんか。

私は「外に出てみる」ことを大切にしています。視野を広くして捉え直す機会をもってみるという意味です。これまでの職場経験でも、何度も行き詰まったときがありました。そのとき助言下さった方の見知の広さを知り目の前が開けた経験があります。また他施設に見学に伴い、そこでの工夫が大変参考になったこと、研修や全国セミナーで出会った人から刺激をいただいたことで、自らの視点も一段高くすることができました。まさに外に出てみるとそれまでの自分がいかに小さかったかに気がついたものです。いま職員の育成・スキルアップを考えますとき、たとえ物理的に「外に出る」ことが難しくとも、「視野を外に向けて」学び・刺激を受けて・もう一度見つめ直すことは変わらず大切なのではないのでしょうか。

全国大会 in Online の開会・閉会プログラムを是非ご覧下さい。各分科会のテーマや登壇者を確かめて下さい。どれも魅力があり、結果として非常に幅の広い lineup になりました。ここから大会テーマ「未来への約束」を全国に向かって京都から発信していきたいと願っています。

日々の業務ではしっかりマスクを付けている私たちですが、しかしあまりマスクを上げすぎて視野を覆ってしまえば足元も見えなくなります。こんな時だからこそ、しっかりと前を見ていたいと思います。

令和3年度 京都知福協広報部会 部員紹介



部会長
西田 武志
障害者支援施設 翼



副部会長
森 亮
光の家アクティブセンター



今西 重人
あけぼの学園りけい寮



杉森 健人
あしたーる工房



樋口 健
あまた翠光園



辻 昭平
宇治川福祉の園



梶屋 陸
ききょうの杜



吉村 祐輝
京都市大原野の杜



水嶋 蒼
大照学園 更生部



三好 真弘
デンダーハウス



八木 真希子
はなのき通所



天野 真弓
ひなどり学園



長谷川 遥
修光学園

編集後記



『知福協だより』リニューアルされたことに気づいて頂けたでしょうか？昨年度末から『手に取って読みやすい広報誌』を目指し、構成や内容について試行錯誤してきました。例年ですと広報部員が会議室等に集まって企画・編集を行うのですが、コロナ禍のためリモートで行ってきました。年齢を理由にするのもおかしいことですが、Zoom の使い方や各種データのやり取り等かなり苦勞をしました。また、パソコン画面に向かって話をする

ことにも慣れておらず、意見交換も思うようにできませんでした。以前、スマートフォンを使い始めた頃も同じように悲観的になったことを思い出しました。そして「これを機に時代について行くぞ」という決意も同じ…

なんだかんだで完成しました今回の広報紙ですが、自分たちの福祉仕事の魅力が伝わるように進化させていきたいと思っておりますのでご意見・ご感想等をお待ちしています。(あけぼの学園 りけい寮 今西 重人)